

特集 鼎談

ていだん



戸沼 幸市
とぬま こういち
早稲田大学名誉教授・参与
財団法人 日本開発構想研究所 理事長
日本都市計画学会会長
国土審議会委員 首都機能移転問題に
関する懇談会委員(国土庁)などを歴任
多くのまちづくり、地域づくりに参画
著書に『人間尺度論』(彰国社)ほか多数



浜 美枝
はま みえ
農政ジャーナリスト/女優
1960年東宝より女優デビュー
美の里づくりコンクール審査委員
食アメニティコンテスト審査委員会会長
農政ジャーナリストの会会員
著書に『農と生きる美しさ』『やさしくて正直な「食の
作り手」たち』(いずれも家の光協会)ほか多数



野見山 恵弘
のみやま しげひろ
独立行政法人都市再生機構 理事
東京大学法学部卒業 建設省入省
環境庁長官官房会計課長
国土庁長官官房審議官
国土交通省大臣官房審議官(総合政策局)
同 大臣官房総括審議官
地域振興整備公団理事 等を経て現職

地方居住の楽しさ

農と食そして人間尺度のまちづくりへ

国土の均衡ある発展から 人間尺度のまちづくりへ

野見山 私どもUR都市機構は、従前のまちづくりフルセット型から民間の活動を支援するパツクアップ型にシフトして事業を進め、政府の施策である、"稚内から石垣まで"の全国都市再生をお手伝いしようという取り組みです。長い間、国土計画にかかわられた戸沼先生から、最初に都市と地方の話題提供をお願いいたします。

戸沼 いままで国が計画をたて、予算を使って日本をつくっていったという時代でしたが、だんだん住んでいる人の等身大の顔が見えるまちをつくりましょうとなってきました。そのメッセージとして、"稚内から石垣まで"というのはなかなか巧みじゃないでしょうか。どのまちでも国でやれることは少なくなりました。地域のことは地域でやるしかない、大規模工業団地とか港とか、そういう大プロジェクトの時代からネットワーク性の強い時代に入ったのです。安全でも安心でも、また食の問題でも、参加型で地域それぞれが考えるということになりました。地域とは個性の集合ですから、一律にはやれない、だから民の役割とか自治体の役割そのものを編成替えしないといけない時代にさしかかっただけだと思いますね。

野見山 私が浜さんの活動の一端に触れたのは、国土庁の農村アメニティ・コンクール(★1)ですけれど、各地に浜さんが行かれますとご婦人方が大勢来られ、みなさん大へん元気(笑)。農村を支えるのは女性だと聞いていましたけどほんとうにそうだと実感しました。



兵庫県宍粟郡一宮町(現 宍粟市)
(第19回 農村アメニティ・コンクール 農林水産大臣賞 最優秀賞)



2006 春 vol.7

特集：地方都市のまちづくり

contents

- 1 特集鼎談
地方居住の楽しさ
農と食 そして人間尺度のまちづくりへ
戸沼 幸市 早稲田大学名誉教授・参与/財団法人 日本開発構想研究所 理事長
浜 美枝 農政ジャーナリスト/女優
野見山 恵弘 独立行政法人都市再生機構 理事
- 9 メッセージ
「この国のかたち」の心から
生まれた「新佐野市のかたち」
岡部 正英 佐野市長
- 10 UR Project / 地方にひろがる まちづくりプロジェクト
水と緑 産業が調和するまち 佐野新都市
新しい秋田市の核となるまち 秋田新都市
沖縄らしく、未来が見えるまち 那覇新都心
- 13 都市の情景
「都市の記憶」をさぐる
東京・表参道ヒルズ
- 15 連載 “いま光る” 都市を訪ねる 第2回
たゆまぬ努力が
落ち着いた風景をつくる 備中高梁の町並み
西村 幸夫 東京大学大学院 都市工学専攻教授
- 17 シリーズ 街が甦るミュージアム ①
400年の歴史を土壌にえがく 鮮やかな都市戦略 金沢21世紀美術館
- 19 メッセージ
“なつかしい”に出会うまち
DNAのデジャヴが観光?
麦屋 弥生 プランナー/元(財)日本交通公社主任研究員
- 20 UR TOPICS
投資家等説明会開催 / 「都市デザイン」ホームページ開設
- 21 UR Report
平成18年度予算について
- 22 編集後記